

若竹保育園 アプローチカリキュラムの 取組について



- ＜若竹保育園＞園長、副園長、主任、年長組担任
- ＜若松小学校＞根本茂樹校長先生、1年生担任
- ＜コーディネーター＞ 砂上史子 先生(千葉大学准教授)
- ＜千葉市、幼保支援課＞鈴木規宏担当課長、宇野貴博主査

若竹保育園のアプローチ千カリキュラム 作成で取り組んだこと

- * **1. 園内研修**
(指針の勉強会、月案の見直しetc.)
- * **2. 小学校との交流**(複数回の交流)
- * **3. 月案の作成**(「10の姿」の記載など)

図1

若竹保育園の次年度に向けたスケジュール

- 幼保小接続(小学校との交流)
- 保育計画指導計画の作成

園内研修
※職員会議の議事の一つとする場合もある

7/13
小学校との
意見交換

6/27
①指針改定の
要点説明

②10の
姿を子ども
の様子から動画
で検討

6/30
職員に対し
「小学校接続
について」ア
ンケート実施

・非認
知能力
について解説

7/29
7月の月案
について、「10の姿」
から保育の
場面を振り
返り、10月
の月案作
成の参考と
する(試験
的試み)

11/1、
12/14
小学校との
交流
(年長組と
小学校1年
生が遊びを
通じて交
流)
※次年度
は5.6月に
前倒して実
施予定

小学校1年生担任・年長組担任その他の情報交換

次年度計画の作成

小学校との交流を踏まえ、
小学校接続を意識した内容で月案
を見直し

小学校との交流を踏まえ、
11月以降の研修内容の検討・実施

園だより、ホームページなどを活用した保護者向け発信の検討・実施(随時。園長、副園長が担当)

幼保小接続カリキュラムコーディネーター砂上史子先生の支援

千葉市
幼保小
事業

6/9
合同勉強

6/30
個別支援

9/8
合同勉強
個別支援

アプローチ
カリキュ
ラム完成

12/26
合同勉強会

1/5
別支援

公開
研究会

モデルカ
リキュラム
完成

6・7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

2018年度

若竹保育園が大切にしたい子どもの姿

- * **子どもが遊び込むこと**
- * 『**自分も人も大切に出来る子どもに**』

1. 園内研修で取り組んだこと(動画研修)



1. 園内研修で取り組んだこと(動画研修)



1. 園内研修で取り組んだこと(動画研修)



1. 園内研修で取り組んだこと(動画研修)



1. 園内研修で取り組んだこと(動画研修)

(ア)健康な心と体

(イ)自立心

(ウ)協同性

(エ)道徳性・規範意識の芽生え

(オ)社会生活との関わり

(カ)思考力の芽生え

(キ)自然との関わり・生命の尊重

(ク)図形や数量、標識や文字などへの関心・感覚

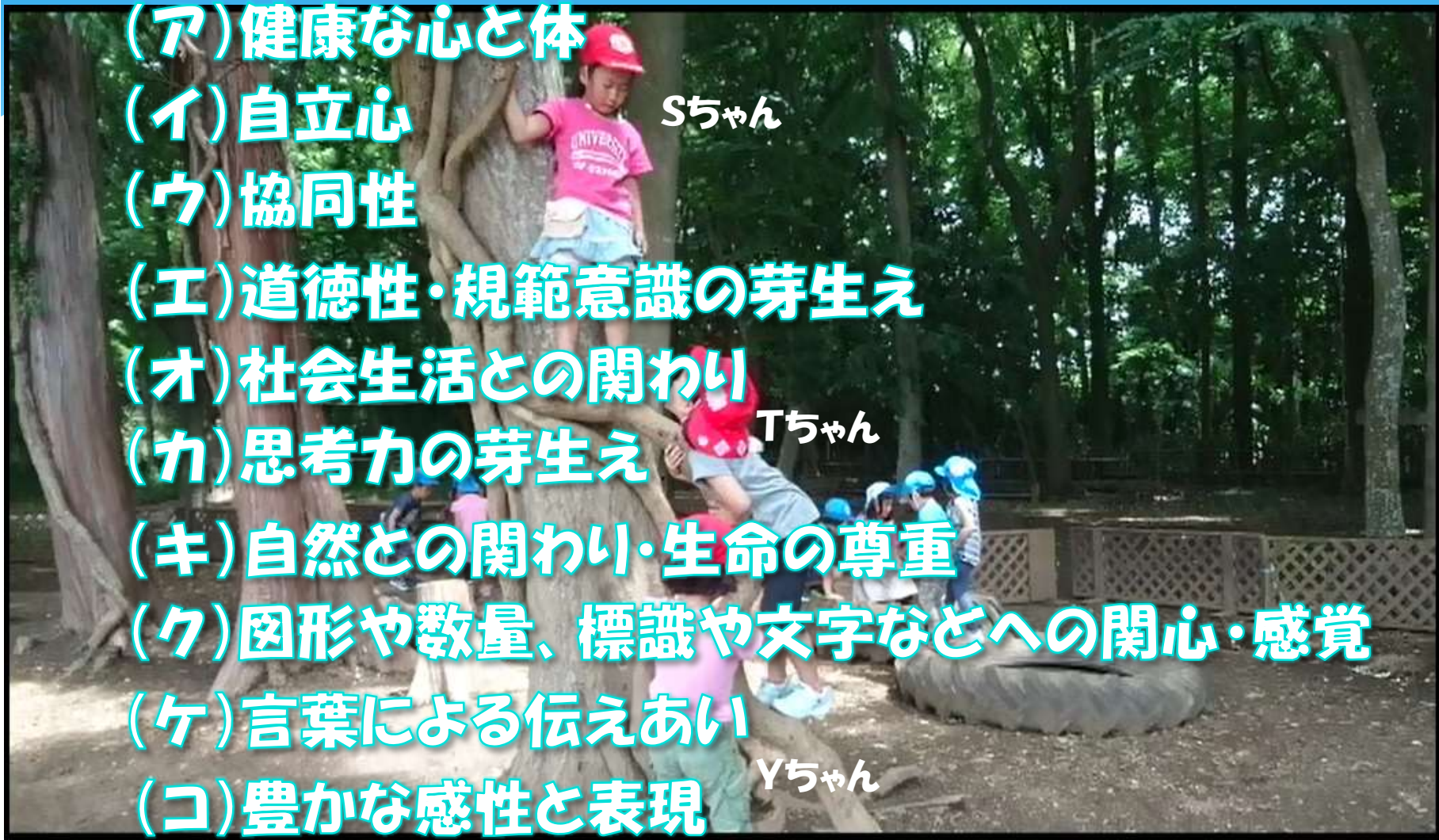
(ケ)言葉による伝えあい

(コ)豊かな感性と表現

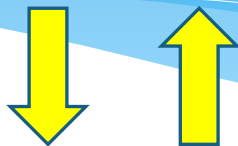
Sちゃん

Tちゃん

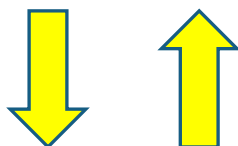
Yちゃん



*** 人に対する信頼感を持っている**



*** 安心して自分を発揮できる**



*** 10の姿、生きる力の基礎**

(知識・技能、思考力・判断力、学びに向かう力・人間性)

平成29年6月27日

若竹保育園職員会議「教育」を考える。

動画 ・「木登り」 ・「フミちゃんのお葬式」

●（グループワーク）

映像から、新指針「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」10の姿のうち、
どんな姿が見てとれましたか？

- (1) 健康な心と体
- (2) 自立心
- (3) 協同性
- (4) 進歩性・規範意識の芽生え
- (5) 社会生活との関わり
- (6) 思考力の芽生え
- (7) 自然との関わり・生命尊重
- (8) 数量や図形、図表や文字などへの関心・感覚
- (9) 言葉による伝えあい
- (10) 豊かな感性と表現



見て取れた姿 ↓	その理由 ↓
..	..
..	..
..	..

●（個人ワーク）

動画を見て感じたこと、感想など。

..

..

1. 園内研修で取り組んだこと(月案見直し)

5 歳児 つばめ組

7 月 保育 計画

(以上児)

園長	主任	副主任	担任
----	----	-----	----

月のわらい	梅雨期から夏期にかけて、健康・安全・清潔に留意し、一人ひとりが快適に過ごせるようにする。 友だちと一緒に一つのことに取り組む中で友だちとの繋がりを深める。																															基礎的事項													
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31														
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月														
行事	合同保育		戸外あそび 夕涼み会	戸外あそび 夕涼み会	戸外あそび 夕涼み会	戸外あそび 夕涼み会	戸外あそび 夕涼み会	夕涼み会		夕涼み会	夕涼み会	夕涼み会	夕涼み会	夕涼み会	夕涼み会	夕涼み会	夕涼み会	夕涼み会	夕涼み会	夕涼み会	夕涼み会	夕涼み会	夕涼み会	夕涼み会	夕涼み会	夕涼み会	夕涼み会	夕涼み会	夕涼み会	夕涼み会	夕涼み会	夕涼み会													
今日の子ども達の姿	環境構成 入室の際、天候や気温によりシワを行い汗を流した後自ら身支度をしようとする。 水遊びを通して、年下のタラスとの関わりが増え一緒に遊んだり、困っている子を見て助けようとする。 友だちと一緒に水や色水、泥や砂に触れたりと楽しんで水遊びを楽しむ。															予感される子供の姿 自分で水着を洗い、体を拭いたりバスタオルの始末を行う。 使っている玩具を水かきに貸してあげる姿や一緒に遊ぶ姿が見られる反面、自分のやりたい気持ちが強くすぐには貸さない状態。 友だちと水のかけ合いや色の変化を楽しむんだり、泥で団子や料理を作る遊びをする。 感情が高ぶるあまり、強い口調になったり些細なことでも敏感に反応し、うまく話し合えないこともある。 曲に合わせて、太鼓や踊りを楽しんだり、また室内では、釣りができる遊具が用意されているので、釣りに興味を示している様子や、釣りができると嬉しそうに話す様子が見られる。															配慮事項 水いぼやびびのある子は、着替えが済むまで担任が付き、他児との接触がないようにする。 様子を見つ必要に感じたら声をかけたり、貸してくれた子の姿を皆の前で認め、自ら気づけるようにしていく。 水遊びならではの発見や喜びを感じられるよう様々な遊びや素材を用意しておく。また、乗せたりあつげたり危険な遊びにならなように注意し、安全に遊びを続けさせる。 互いの気持ちを受け止めた上で、強い口調で言われた時自分はどのように感じるか、相手に伝えたいことは何か、話し合いについて考えられるような声かけをしていく。 一緒に踊りや太鼓をし、余韻を楽しむ。また、果物の作りかたや性質などについて、事前に園児と話し合い、関心のある題材を選び、関心のある遊びや活動を用意しておく。														
家族との連携	アルカドの配布をしようとする。 着替えが増える時期なので、こまめに補充の確認をしようとする。															個別的配置 夕涼み会では生き生きと太鼓を叩く子どもの姿が印象的で、終わった後も太鼓を叩き続けます。															振り返り 夕涼み会では、生き生きと太鼓を叩く子どもの姿が印象的で、終わった後も太鼓を叩き続けます。また、水遊びが楽しめる様子や、釣りに興味を示している様子や、釣りができると嬉しそうに話す様子が見られる。また、水遊びが楽しめる様子や、釣りに興味を示している様子や、釣りができると嬉しそうに話す様子が見られる。														

A 水遊びを通して、年下のタラスとの関わりが増え一緒に遊んだり、困っている子を見て助けようとする。

B 友だちと一緒に水や色水、泥や砂に触れたりと楽しんで水遊びを楽しむ。

1. 園内研修で取り組んだこと(月案見直し)

A.

水遊びを通して、年下のクラスとの関わりが増え一緒に遊んだら困っている子を見て助けようとする。

B.

「友達と一緒に水や色水、泥や砂に触れ、やり取りをしながら水遊びを楽しむ」

「今月の子どもの姿(現:内容)」欄の記載のしかたによって(例えば、AとBの記載順を入れ替える)、子どもが遊びを楽しむことを第一にしていることが保育者通しで共有しやすくなる」

若竹保育園のアプローチ千カリキュラム 作成で取り組んだこと

- * **1. 園内研修**(指針の勉強会、月案の見直し、etc.)
- * **2. 小学校との交流**(複数回の交流)

2. 小学校との交流

- ・7月校長先生との話し合い
- ・9月園と学校との発行文書の交換
- ・第1回小学校訪問
11月1日 1年3組の授業参加
- ・第2回小学校訪問
12月14日 小学生と遊ぶ・授業見学

2. 小学校との交流

7月、校長先生との話し合い

- ・大切なのは、読み書き計算などの就学準備ではなく、「やってみたい」という気持ちを育てることが大切。
- ・児童が困っている時に、「困っている」と言えるような心が育っているかが大切。
- ・1回の交流で終わらせず、継続的な交流をする。

【内容】

- ・小学校との発行文書の交換、掲示
- ・複数回の交流

2. 小学校との交流

第1回 小学校訪問

目 標 : 小学校を体験する(慣れ親しむ)

日 時 : 平成29年11月1日(水)

場 所 : 若松小学校校庭

授業内容 : 1年3組 「生活科の時間」

スケジュール:

9:55保育園出発 → **10:20**小学校到着

10:35授業開始 → **11:15**授業終了～遊び、トイレ

11:50小学校出発 → **12:20**保育園到着

2. 小学校との交流

第1回 小学校訪問



2. 小学校との交流

第1回 小学校訪問



2. 小学校との交流

第2回 小学校訪問

目的 : ・小学生と遊ぶ ・授業を見学する

日時 : 平成29年12月15日(金)

場所 : 若松小学校体育館、1年生各クラス

授業内容 : 毎年恒例の交流会。小学生が手作りしたおもちゃなどで遊ぶ

スケジュール :

10:00 保育園出発 → **10:30** 小学校到着

10:40 小学1年生と交流会

・みんなで「さんぽ」の合唱 ・いろいろな遊びで遊ぶ

11:25 授業見学

11:40 小学校出発 → **12:00** 保育園到着

2. 小学校との交流

第2回 小学校訪問



2. 小学校との交流

第2回 小学校訪問



2. 小学校との交流

第2回 小学校訪問



しょうがっこうではどんなことをしていたかな？
しょうがっこうにはどんなものがあったのかな？

- ＊おペンきょう (たいさん ひざん)
- ＊おししたのこにやこしくおしえてくれた。
- ＊こうざくしてた。
- ＊はしはし=リ、うんどうしていた。

＊はしはし=リ、うんどうしていた。

↓ おんがが
しょうがくせいのこにうたう

- ＊おペンきょう
- ＊らんごせををしって、
おうちからしょうがっこうまで みるく
- ＊うんどうをする。
- ＊こうざく
- ＊きょうしきをしる。(おんがばんもある。)
- ＊おんがし

2. 小学校との交流

第2回 小学校訪問

<小学校ではどんなことをしていたかな？>

*

- 勉強（足し算、引き算、書き方）
- 年下の子にやさしくおしえてくれた
- 工作していた
- 走ったり、運動をしていた

*

2. 小学校との交流

第2回 小学校訪問

<小学校にはどんなものがあったかな？>

- ・黒板
- ・机
- ・椅子
- ・テレビ
- ・ノート
- ・筆箱
- ・ランドセル
- ・昔の道具、写真（廊下にあった）
- ・バット
- ・上履き

2. 小学校との交流

第2回 小学校訪問

<みんなが小学生になったら？（なにをする？）>

- ・ お勉強
- ・ ランドセルを背負って小学校まで歩く
- ・ 運動をする
- ・ 工作
- ・ 給食を食べる（当番もある）
- ・ 掃除

2. 小学校との交流

第2回 小学校訪問

<かっこいい小学生になるためのポイント>

- ・ハンカチをもってこ
- ・名札を自分でつける
- ・シール帳を貼る
- ・リュックを自分で
- ・自分でお箸セットを
- ・お当番
- ・前の日に持っていく
- ・はみがき



2. 小学校との交流

第3回 小学校訪問

目 標 : 子どもの小学校でやってみたいことを行う

日 時 : 平成30年2月 (調整中)

場 所 :

内 容 : 事前に交流として何をしたいかを園児に聞き、
目的を持って参加してみる

スケジュール: (未定)

(砂上先生からのアドバイス)

前回、小学校側が歌を歌ってくれており、今度は保育園側から歌を披露する機会もあると、子ども達もまた一段とやる気になるのでは。

しょうがっこうでなにをしたの？

- おともだちとあそびたい
- としょじつにいきたい
(ありすのへや)
- しょくいんしつのはかを見たい
- りかしてじょうけんをしたい
- "しょうがっこう"をにんげん
したい
- おへんきょうをしてみたい
- おともだちとさんぽをしたい
- ちねんせいのきょうしつをみたい
- おにいさん おねえさんとおともだちと
たのしい。
- こうていをやきゅうをみたい
- 1かんせいの...をみたい
- ...でぼくが...したい

- いしよに、ごきょうをみたい
- 1かんせいにはわとびを
おしえてもらいたい
- こうていでいしよに
あそびたい
- おへんきょうをおしえて
もらいたい。

若竹保育園のアプローチ千カリキュラム 作成で取り組んだこと

- * **1. 園内研修**(指針の勉強会、月案の見直し、etc.)
- * **2. 小学校との交流**(複数回の交流)
- * **3. 月案の作成**(「10の姿」の記載など)
資料参考

遊びは学び

「種あつめ」



遊びは学び

「鬼ごっこ、サッカー」



遊びは学び

「鬼ごっこ、サッカー」



(ア) 健康な心と体

(イ) 自立心

(ウ) 協同性

(エ) 道徳性・規範意識の芽生え

(オ) 社会生活との関わり

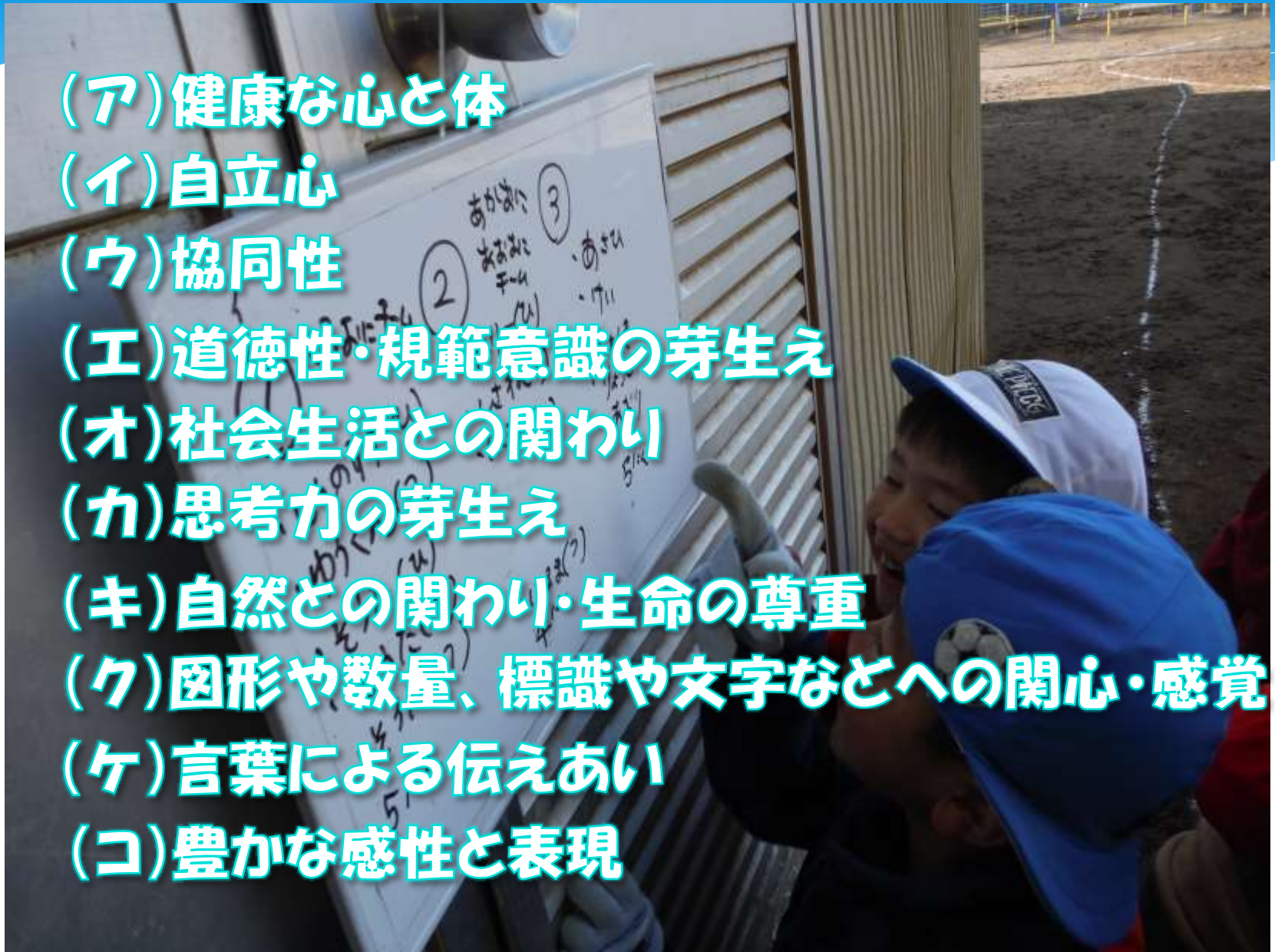
(カ) 思考力の芽生え

(キ) 自然との関わり・生命の尊重

(ク) 図形や数量、標識や文字などへの関心・感覚

(ケ) 言葉による伝えあい

(コ) 豊かな感性と表現



遊ぶ中学习

そ



遊びは学び

(ア) 健康な心と体

(イ) 自立心

劇あそび

(ウ) 協同性

(エ) 道徳性・規範意識の芽生え

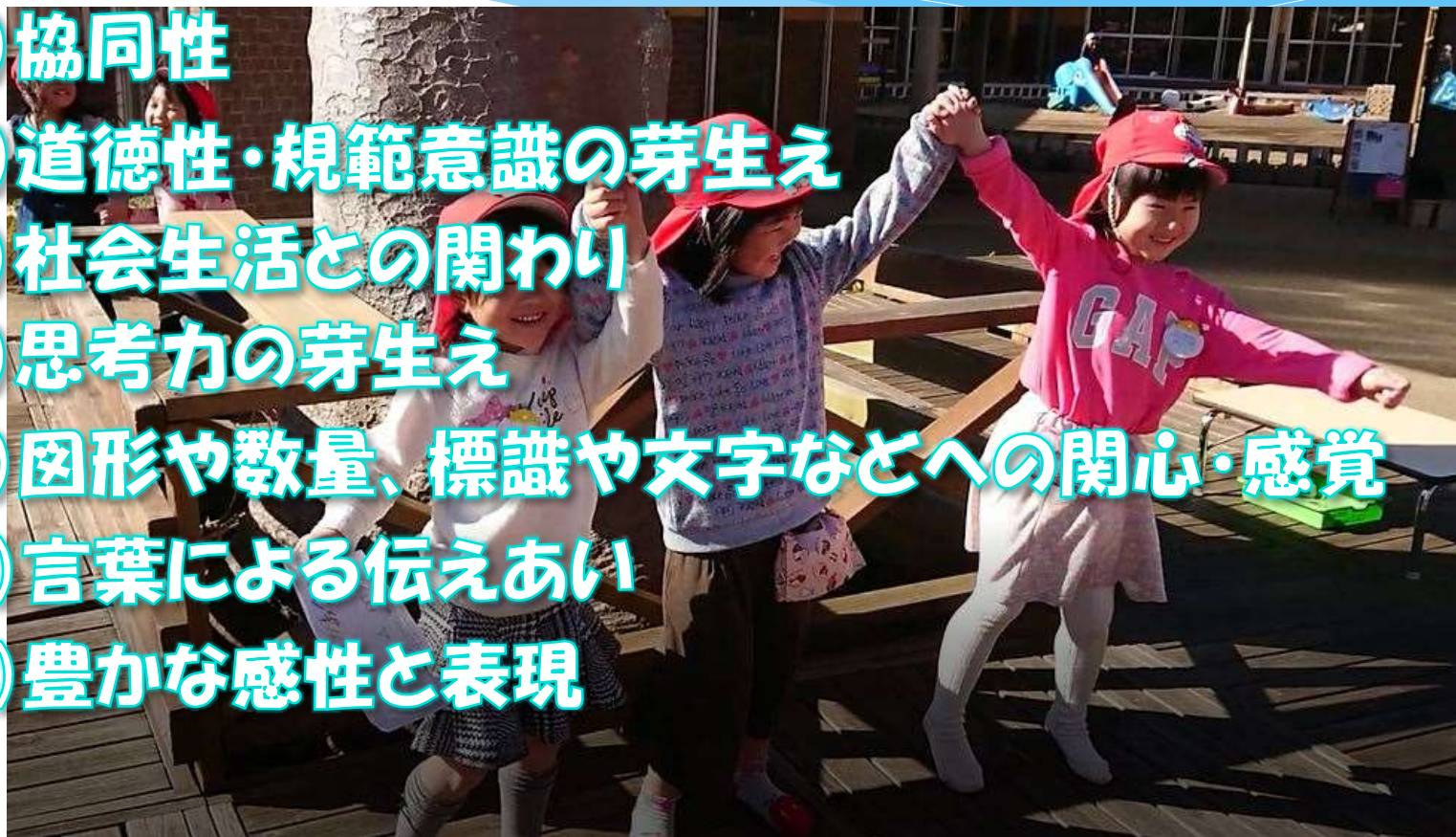
(オ) 社会生活との関わり

(カ) 思考力の芽生え

(ク) 図形や数量、標識や文字などへの関心・感覚

(ケ) 言葉による伝えあい

(コ) 豊かな感性と表現



* 1月11日「シンデレラ」フィナーレの様子

今後の課題

ACを下にした小学校との継続的関わりや、 考え方の長期的共有

- ・校長先生や担任の先生が変わっても、交流の継続や、考え方が長期的に共有できるような体系づくりが大切

保護者への理解

- ・「10の姿」は到達目標ではなく、保育者が配慮すること
- ・(保護者の)就学に向けての心構え
- ・子どもの就学フレッシャーの軽減

おわりに

アプローチカリキュラム作成に取り組み、気付いた事

- ・必要なのは安心できる環境の中で、遊び込んだり、友だちとぶつかりあうなど、子どもが自分を発揮できる環境を保育者が保証すること。
- ・遊びへの心情、意欲、態度は、遊び(学び)が繋がって育てられている
- ・「10の姿」は、子どもが遊び込むために必要な道具になる

ご静聴ありがとうございました

